夢を語ろう、手をつなごう。
しののめ信用金庫

NEWS RELEASE

2026年11月6日

しののめ信用金庫　上半期決算概要を公表

本業の収益力を示すコア業務純益は
前年同期比235百万円増益の1,586百万円を計上

▼　しののめ信用金庫（理事長　横山　慶一）は、令和8年度上半期決算概要を公表した。

▼　当金庫は事業を営むお客さまの本業支援と金融支援に真摯に取組むとともに、個人のお客さまにおいても、それぞれのニーズにお応えし、最適なご提案ができるよう努めてまいります。
これからも当金庫は、基本理念「愛本位主義」に基づき、地域のお客さまにしっかりと寄り添い、お役に立てるよう、信用金庫らしい温かみのある活動を積み重ね、お客さまと地域の未来に貢献できるよう努めてまいります。

▼　損益について
経常利益は、市場金利が今後も上昇することを想定し、低利回りの有価証券の売却を進めたことにより、国債等債券売却損を1,134百万円（前年同期比+1,008百万円）計上したことを主な要因として、前年同期比656百万円（50.59%）の減益となりました。当期純利益は前年同期比349百万円（36.21%）減少し、614百万円となりました。
本業の収益力を示すコア業務純益は、預金利息や人件費が増加した一方で、利回りの上昇に伴い資金運用収益が増収となったことから、前年同期比235百万円増益となりました。

▼　自己資本比率は国内基準で求められている4%を上回る8.92%（前年同期比0.35ポイント上昇）となりました。

▼　金融再生法に基づく開示債権（不良債権）は、20,717百万円、その内訳は「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」が3,760百万円、「危険債権」が13,044百万円、「要管理債権」が3,912百万円。不良債権比率（金融再生法に基づく開示債権比率）は、4.83%と低い水準です。

夢を語ろう、手をつなごう。
しののめ信用金庫

NEWS RELEASE

前年同期（令和７年９月期）との増減を、主な開示項目ごとに表でまとめると以下のとおりです。

金額単位：百万円

開示項目	7年9月期	8年9月期	増減値	増減率
預金積金残高	1,071,910	1,069,357	△ 2,552	△ 0.23 %
貸出金残高	425,986	427,105	1,119	0.26 %
業務純益	1,224	481	△ 743	△ 60.70 %
実質業務純益	1,224	468	△ 756	△ 61.73 %
コア業務純益	1,351	1,586	235	17.41 %
経常収益	6,775	7,773	998	14.73 %
経常費用	5,478	7,132	1,654	30.19 %
経常利益	1,296	640	△ 656	△ 50.59 %
当期純利益	964	614	△ 349	△ 36.21 %
金融再生法に基づく開示債権（不良債権）	21,122	20,717	△ 405	△ 1.91 %
開示債権比率（不良債権比率）	4.93%	4.83%	-	△ 0.10 %

（計数については単位未満を切り捨てて表示しています）

本件に関するご照会は、下記までお問い合わせくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

〒370-0851　群馬県高崎市上中居町 58 番地
しののめ信用金庫　総合企画部　田村
TEL　027-330-1175
FAX　027-326-5522

以上